

研究結果概要書

「あなたが挿絵を描く絵本」～石州和紙を使った新たな商品開発・販売～

島根県立大学 総合政策学部 総合政策学科
井上瑞葵

小学校低学年向けの絵本を作るにあたり、人気の絵本を中心に以下の①～⑧を調査し、絵本作りに反映させた。

- ① 登場人物の人数 →10 人以下
- ② 登場人物のキャラクター設定 →ごく普通の小学校低学年または動物が多い
- ③ 文字の量 →多くても左ページの半分に収まるような文章量
- ④ 文字の大きさやフォント
→擬音は大きな字で強調してあることが多かった。フォントはメッセージ性の強い絵本は明朝体・教科書体などが多く、ポップな絵本はゴシック体が多い。
- ⑤ ページ数
→32 ページで構成されているものが多い
(詳しくは研究結果報告書で図を用いて説明する。)
- ⑥ 語尾の口調や「!」「?」の使い方
→語尾は「～ね。」「～よ。」で終わるものが多く、優しい印象を読者に与える工夫がされていた。特にメッセージ性の強い絵本は語尾が「。」で終わっているものが多く、「!」は本当に強調したい部分にのみ使われていた。疑問文も「～?」ではなく、「。」で終わっており、国語のルールに則って書かれていた。
- ⑦ 挿絵
→ページ一面に挿絵を描く印象が大きかったが、調査したところページに複数のシーン(4シーン分を4コマで描くなど)が描かれているものもあった。(挿絵のバリエーションを増やし読者が飽きないようにするため。)
- ⑧ 表紙、中表紙
→表紙に絵本のタイトルがあり、中表紙でもう一度タイトルがくる。多くの絵本は、それらの挿絵を異なるものにしていった。そのため、2パターンのイラストを決める必要がある。